

# N I E 実践報告書

尚志館高等学校

本校は、新聞に対する興味や関心を引き出すことを目的として、特進科・普通科を中心にコラム欄を毎朝読む活動を行っている。また、「N I E 研究会」を発足し、南日本新聞社「若い目」への投稿、夏休みNIE学習会などを通して「読む・聞く・書く・伝える」の能力を高める実践活動を行っている。

## 1 年間実践活動

(1) 一部のクラスではあるが、朝のホームルームの時間に生徒がコラム欄を読む時間を設ける。南日本(南風録)・朝日(天声人語)・毎日(余録)の3紙。

(2) NIE 研究会(部員 21 名)を中心に、南日本新聞「若い目」への投稿活動、文化祭での展示発表、夏休みNIE学習会を実施する。投稿活動については、特定の学科に偏りがないように留意している。

・南日本新聞「若い目」への投稿活動

H24年度:14名 H25年度:14名 H26年度:11名(2月末現在)が掲載された

・夏休み実施のNIE学習会

H24年度:川内原子力発電所 見学

H25年度:南日本新聞社 見学

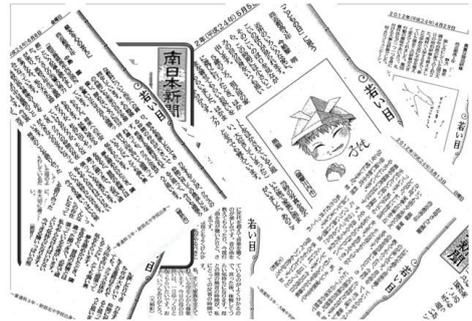
H26年度:MB C南日本放送局 見学

・文化祭での展示発表

H24年度:東日本大震災 報道写真展示

H25年度:南日本新聞「号外特集」展示

H26年度:南日本新聞社 見学写真展示



(3) 年間購読6紙を進路指導室のコーナーに設置し、自由に新聞を手にとれる環境を提供する。A0入試や面接に幅広く活用してもらうことをねらいとする。

・年間購読計画(平成26年9月開始)

A0入試や面接時期の9月~11月に多くの新聞を設置

新聞/月	9	10	11	12	1	2	3
朝日	○	○	○	○			
毎日				○	○	○	○
読売	○	○	○	○			
日経	○	○	○	○			
西日本				○	○	○	○
南日本	○	○	○	○			



## 2 南日本新聞社「若い目」掲載一覧

平成26年度		
4月29日	「後輩ができた喜び」	建設工業科2年 福田 峻也 (大崎中)
6月1日	「中国から日本に来て」	特進科2年 王 東晨 (鹿屋東中)
6月15日	「父の日によせて」	特進科3年 堀 裕成 (松山中)
7月22日	「気づく力の大切さ」	商業科2年 山田 純也 (大隅中)
8月6日	「祖父の戦争の記憶」	普通科2年 福重美沙樹 (東串良中)
8月23日	「戦争知る手掛かりに」	普通科2年 坂下 颯 (鹿屋東中)
9月15日	「祖母へありがとう」	商業科2年 上ノ菌玲央 (松山中)
11月04日	「変化する秋の気配」	特進科1年 小原 優輝 (鹿屋中)
11月23日	「母のぬくもりに感謝」	普通科3年 肥後 隆幸 (第一鹿屋中)
12月31日	「頑張った病院実習」	看護学科専門課程1年 峯山千怜 (国見中)
2月2日	「親切の連鎖を」	看護学科専門課程1年 原口純麗 (細山田中)
平成25年度		
4月3日	「感動をありがとう」	特進科2年 長谷 川結 (東串良中)
5月31日	「現金詐欺許せない」	建設工業科3年 前村 瞭太 (国見中)
6月27日	「ロケットの未来考え」	商業科2年 瀬戸くるみ (大崎第一中)
7月24日	「将来の夢への決意」	医療福祉科3年 花房 美優 (南之郷中)
8月7日	「平和な世界を願う」	特進科2年 田畑 仁士 (有明中)
9月17日	「五輪決定に力もらい」	特進科1年 東水流卓也 (東串良中)
10月14日	「キャンドルに誓う」	看護学科2年 岩田 升美 (高山中)
11月1日	「新聞週間が終わり」	特進科2年 宮田 佳乃 (東串良中)
12月2日	「大声援で『恩返し』」	商業科3年 半下石義経 (田崎中)
12月31日	「貴重だった受験経験」	建設工業科1年 松崎 雅幸 (第一鹿屋中)
1月19日	「今年こそ母の音色を」	特進科1年 竹崎 駿 (志布志中)
2月22日	「完成近づく校舎見て」	特進科1年 的場 梨花 (大崎中)
3月2日	「常に笑顔でいよう」	医療福祉科3年 馬場 清楓 (志布志中)
3月22日	「感謝の気持ち」	医療福祉科3年 河合 亮汰 (吾平中)
平成24年度		
4月29日	「貴重な宿泊研修」	特進科1年 野方 啓史 (宇都中)
5月5日	「こどもの日に思う」	特進科3年 今給黎明 (串良中)
5月13日	「お母さんに感謝」	商業科3年 益留 琴福 (大崎中)
6月8日	「級友を心の支えに」	普通科3年 中島 園 (財部北中)
6月16日	「祖母や母のように」	特進科2年 大園 理保 (鹿屋東中)
7月7日	「教育実習の先生へ」	商業科2年 坂元 優亮 (富島中)
8月4日	「薬物乱用やめて」	医福科2年 中嶋あずさ (菱田中)
8月31日	「市電100周年に思う」	特進科3年 田中 徹 (鹿屋東中)
9月17日	「敬老の日迎えて」	特進科1年 横川 佳子 (大隅中)
10月16日	「新しい知識や発見得て嬉しい」	普通科3年 福元 健太 (国見中)
12月11日	「陰で支え来年こそ」	特進科1年 杉本 涼 (高山中)
1月3日	「初志貫徹」	特進科2年 吉村 優希 (志布志中)
2月3日	「大事な伝統行事」	普通科1年 黒木 勝也 (宇都中)
2月24日	「思い背負って選抜へ」	普通科2年 新原 晃太 (第一鹿屋中)

### 3 NIE 授業実践

《地歴公民科で採用した記事例》

- ・「なくなった方がいい仕事 ボタン一つ消える命」
- ・「エルニーニョ夏から発生 冷夏へ影響、暖冬予測 鹿児島県内」
- ・「南極大陸の 1.7 倍に オゾンホール」
- ・「産科医 10 年後 26 府県で減」
- ・「消滅自治体 人口減の先に待つ」
- ・「津波犠牲 教習所に責任 19 億円賠償命令」 など

《授業の流れ》

- ・導入部分で新聞を活用する。
- ・事前に、授業に関連のある記事、生徒の興味を引く記事を選ぶ。
- ・複数の新聞社、日付の異なる新聞を準備する。ただし、テーマは一つに絞る。

①学習班を作り、各自で新聞を読む。新聞の交換も自由。



②学習班で、思ったこと感じたことを自由に意見交換する。  
文字の内容だけではなく写真についても考えさせる。



③一斉授業に入り、数名に発表させ、単元の本題につなげる。  
さまざまな意見があってもよいので、特定の答えは出さない。  
新聞から得られた情報は、授業プリントに必ず記入させる。



#### 4 過去の夏休み NIE 学習会と文化祭展示発表

##### 夏休みを利用した NIE 学習会



夏休みを利用して、川内原子力発電所を訪問し、学習会を行いました。川内火力発電所も見ることができ、今後のエネルギーのあり方を考える機会となりました。



南日本新聞社を訪問し、社内見学をしたり、輪転機などを見たりして、新聞ができる過程を学びました。インクの匂いは今でも忘れられません。

##### 文化祭での NIE 展示発表



南日本新聞社から東日本大震災の報道写真をお借りし、写真パネルの展示を行いました。同時に、NIE研究会の部員が選んだ新聞記事を、新聞が楽しくなる読み方とともに摸造紙にまとめ発表しました。



～生徒・保護者からのアンケートより～  
○震災を忘れかけていた自分がいて、恥ずかしくなりました。辛いけれど受け止めなければならない事実だとあらためて感じました。(1年生)  
○震災の大きさが痛々しく、胸に突き刺さる写真ばかりで、私たちの日々のあたり前の幸せを感じました。(保護者)

#### 5 おわりに

初めは、新聞に興味がなかった生徒も、新聞を読むことの楽しさ、いままで知り得なかった知識が身につくことの満足感から、少しずつ新聞を読むようになった。なかには、「ドクターヘリ」の新聞記事を読み、医療に興味を持ち、将来はその分野で仕事がしたいと思うようになった生徒もいた。「若い目」の掲載は、親戚や知人はもちろん、小学校、中学校の恩師から連絡があったという生徒もいた。掲載された翌日に、一般市民の方から手紙が届き、読んだ感想をくださったこともあった。生徒の自信につながっている。

今後は、学校で新聞を有効に活用し、生徒の興味を駆り立て、自ら新聞を手にとるように工夫・改善をさらに重ねていきたい。